



できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ

城陽エコパートナー通信

Vol.70

発行日：令和3年(2021年)7月21日
会員数：306人(令和3年6月30日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (66)6828

自然学習会「植物・昆虫の標本のつくり方教室」を開催しました！

令和元年度に「城陽生き物ガイドブック～植物編～」を製作、今年度は「城陽生き物ガイドブック～昆虫編～」を制作予定であり、子どもたちが生き物を観察し、学習する機会をつくること、地域の生き物を知る一歩として、また「自然豊かなふるさと」を認識してもらうことを目的に、7月3日(土)、東部コミセンのホールにて野村隆俊先生(元寺田南小学校教諭)、山崎行則先生(寺田南小学校教諭)、城陽環境パートナーシップ会議より、山村元秀委員、竹内康委員を講師に自然学習会「植物・昆虫の標本のつくり方教室」を開催しました。

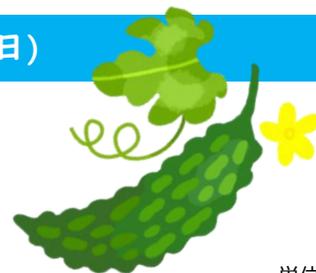
コロナ禍でのイベント開催ということもあり、当日は2回に分けて開催をしました。

初めて標本をつくる子が対象ということもあり、昆虫に針をどのように刺すか、また昆虫のあしの固定のやり方など、講師より丁寧に教えてもらい、最後には素晴らしい標本になりました。植物標本も、朝、採集してきた植物を使い、植物の形を整えて新聞紙などにはさみ植物を乾かす工程をおこないました。最後に、中川委員が採集したクワガタを、参加者に配付をし、終了となりました。

コロナ禍の中、参加者も時間も限られての開催でしたが、子どもたちが生き物を観察する機会、自然豊かなふるさとを認識してもらう機会として、次回は植物や昆虫の採集から、標本までをできればと思います。



■ 2020年度収支決算(2020年4月1日～2021年3月31日)



1. 総括表

単位：円

項目	決算額	備考
総収入	1,195,300	
総支出	889,882	
収支差額	305,418	令和3年度(2021年度)へ繰越

2. 収入

単位：円

項目	予算額①	決算額②	差額②-①	備考
(1)会費	320,000	320,000	0	賛助会費 16会員×@20,000
(2)募金・寄付	4,800	6,600	1,800	パートナーシップ募金6,600円
(3)参加費収入	86,100	0	△ 86,100	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、環境フォーラム以外のイベント開催は中止とした
(4)補助金	300,000	600,000	300,000	「城陽市活動支援補助金」600,000円 (内「府レジ袋削減促進事業補助金」300,000円)
(5)雑収入	9,030	1,204	△ 7,826	普通預金利息、生き物ハンドブックDVD販売代
(6)前年度繰越金	267,496	267,496	0	
合計	987,426	1,195,300	207,874	

3. 支出

単位：円

項目	予算額①	流用額②	流用後予算額③	決算額④	差額④-③	備考
(1)事業費	799,250	0	799,250	756,811	△ 42,439	城陽市環境フォーラム講師謝礼、ゴーヤの育成消耗品、花いっぱい運動に関する用具代・苗・菜種代、畑の肥料代、温室内消耗品・備品・修繕費用、展示資料・啓発用配布チラシ印刷プリンターインク代、オリジナルエコバッグ制作費、グリーンカーテンフォトコンテスト写真用紙・賞品代など
(2)広報費	58,400	0	58,400	53,582	△ 4,818	会報郵送(年4回)
(3)調査研究費	5,000	0	5,000	0	△ 5,000	支出なし
(4)事務費	113,000	0	113,000	79,489	△ 33,511	賛助会費・印刷代等振込手数料、通信切手代、クラフト封筒代、事務消耗品費など
(5)予備費	11,776	0	11,776	0	△ 11,776	
合計	987,426	0	987,426	889,882	△ 97,544	

■ 2021年度事業計画

環境ビジョン	2021年度の取組内容
パートナーシップ	総会の開催
	環境フォーラム・環境ミニフォーラムの開催
	第2次環境基本計画の取組み
	会報(エコパートナー通信)の発行(年4回)
	環境美化の推進
生活	環境活動の啓発
	身近な河川の清掃活動の実施
	グリーンカーテンの普及・啓発
	エコ料理教室
自然	花いっぱい運動の実施
	身近な河川と里山で見られる動植物の観察会の開催(年3回)
	城陽生き物ガイドブック(昆虫編)の作成
	自然学習会の実施
地球環境	竹林の整備(竹炭づくり)
	省エネ診断の実施
	エコバスツアーの開催
循環	企業訪問の実施
	ごみの分別・減量化の啓発
	廃食用油回収の啓発
	マイボトルの推進
	環境学習会の開催
	「Joyo Eco Choice!」の活用

■ 役員・運営委員の紹介

役職	氏名
会長	大野 和宣
副会長	芦原 昇
監事	竹内 康
運営委員	井手 邦彦
〃	米田 由紀子
〃	岡田 丞市
〃	小林 駿
〃	中島 和代
〃	岡井 昭憲
〃	中川 宗孝
〃	新川 達郎
〃	水野 尚之
〃	奥田 禎爾
〃	一瀬 裕子
〃	山村 元秀
〃	山岡 正信
〃	阪部 晃啓
〃	森島 孝太
〃	森田 清逸
〃	上野 さや子
〃	小林 順寛
〃	本城 隆志
〃	崎嶋 毅昇

○運営委員会の開催 毎月第1木曜日

○部会の開催 毎月第3木曜日

○本年度の事業計画は、今後の新型コロナウイルス感染症にかかる事態の推移を判断して実施します。

(2)

(順不同)

■ 2021年度収支予算(2021年4月1日～2022年3月31日)

【収入の部】

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
(1)会費	320,000	320,000	0	賛助会費 @20,000×16会員=320,000円
(2)募金・寄付	4,800	4,800	0	募金 @400×12月=4,800円
(3)参加費収入	42,700	86,100	△ 43,400	(自然学習会) 参加費@100×12名=1,200円 (エコバスツアー) 参加費@500×35人×1回=17,500円 (男のエコ料理教室) 参加費@1,000×24人×1回=24,000円
(4)補助金	300,000	300,000	0	城陽市(300,000円)
(5)雑収入	510	9,030	△ 8,520	普通預金利息、即売等の収益金
(6)前年度繰越額	305,418	267,496	37,922	
収入合計(A)	973,428	987,426	△ 13,998	

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
(1)事業費	770,350	799,250	△ 28,900	自然観察会・料理教室の講師謝礼、花いっぱい運動活動費、生き物ガイドブック作成費、省エネ診断・開催イベントのインセンティブ代、エコバスツアーの交通費、エコバスツアーの観覧料、学習会での使用教材費、事業開催にかかる保険代、消耗品費など
(2)広報費	58,400	58,400	0	会報郵送料 @73×200会員×4回=58,400円
(3)調査研究費	5,000	5,000	0	参考資料、書籍等購入代
(4)事務費	126,000	113,000	13,000	切手代、会費振込手数料、その他振込手数料、慶弔費、事務消耗品、封筒代など
(5)予備費	13,678	11,776	1,902	
支出合計(B)	973,428	987,426	△ 13,998	
収支差額(A)-(B)	0	0	0	

城陽の生き物の記録・資料作成用に守口誠様から「カメラ」をご寄付いただきました



野鳥カメラマンの守口誠様より、調査記録に役立てて下さいと、当会に未使用新品のカメラを寄贈いただきました。そのいきさつは、以前から野鳥情報をいただいていた守口様が珍鳥・ミゾゴイを発見され、現地調査に赴いた際、望遠鏡に、おじいちゃんから借りたコンパクトカメラを押し当てて、野鳥を撮影している千田真大君を見て、予備のカメラの進呈話になりました。

将来が楽しみなジュニアメンバーや、貴重な資料作成に役立てていただきたいとのご厚意に甘え、有意義に活用させていただきます。守口様、本当にありがとうございました。

そして6月11日に、このカメラを借りた千田君が、守口様の指導で初めて撮影した野鳥が、下の写真の「ホオアカ」です。ホオアカは、近畿では準絶滅危惧種に掲載されており、中部以北で繁殖する希少冬鳥です。

冬期以外に観察記録はなく「京都府初」となるこの時期の生息確認は、繁殖の可能性もある学術的価値の高い大発見となりました。

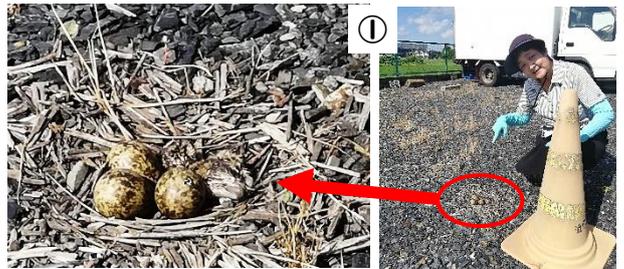


新たな一頁を刻んだケリの保護活動

文：中川委員

今年の愛鳥週間、久御山町の鳥・ケリが東角小学校のグラウンドで産卵し、子供たちに見守られて無事孵化した雛鳥たちが水田地帯に移動して元気に育った一連の報道記事が大きな話題となりました。そして城陽市の久津川でも、やはり繁殖には不適な駐車場での営巣情報が鳥垣咲子さんから届きましたが、こちらのケリは田んぼで産卵するもトラクターの耕作で破壊され、再繁殖も田植えの水入れで水没、産卵場所が無くなった結果隣接する駐車場の一角で3度目の繁殖に至ったことが分かっています。(写真①)車から巣を守るコーンを設置し、雛鳥誕生を願う『ケリ保護プロジェクト』が始まりました。無事に孵化しても、溝とフェンスで移動できない雛鳥たちを、餌と水が得られる水田に、安全かつ早急に移す難題があります。果たして、孵化翌日の6月19日の雨の土曜日、鳥垣さんたちとの絶妙の連携で4羽の雛鳥を確保することができ、水田に移すやすぐさま親鳥に迎えられ羽毛の中に潜り込み、先ずは保護の第一目標を達成できました。(写真②③④)

そして、4羽の雛鳥の追認調査にカラスやキツネなどの捕食者情報を確認しながら見守ること5日目、平日から鳥類学者の脇坂英弥君はじめ7名もの調査メンバーが集い、元気に育つ雛鳥に里親たる我々からあらためてのプレゼントです。(写真⑤⑥) 環境省の刻印もおしゃれなキラリと光る標識足環に大喜びのケリの雛鳥。近い将来、生まれ故郷の城陽の地で子育てしている光景や、はたまた遠く国内外の地から風の便りを届けてくれる第二の目標へと夢が広がりました。本来、自然の営みに人為的介入は避けるべきとの声も、野生の命を慈しむ想いに優るものではなく、こうした保護に不可欠な生態解明の一助となる調査資料を得られたことは胸を張れる成果です。昨年来、当PS会議を窓口にする話題を提供してくれたコウノトリ・ひかりちゃん見守り隊メンバーが、広くふるさとの野鳥と生き物たちに目を向けて観察を続けてくれています。瑞祥の福鳥のご利益で、これからもふるさとの生き物讃歌をお届けできることを願っています。



日本観光ゴルフ株式会社
城陽カントリー倶楽部
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46

株式会社 城南工建
〒610-0113 京都府城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

株式会社 ミズホ
砥石で、未来を磨いてゆく
〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻82番地

東城陽ゴルフ倶楽部
〒610-0113 京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光 ※令和3年6月末現在(五十音順・敬称略)